

代陽小 この1年を振り返って

令和3年度も残りわずかとなりました。学校評価と県学力・学習状況調査の結果より、今年度の代陽小学校の教育活動を振り返ってみたいと思います。

学校評価アンケート結果より

2月に保護者の方を対象とした学校評価（アンケート）を実施しました。8割を超える回収率で、貴重なご意見もたくさんいただきました。お忙しい中にご協力いただき、ありがとうございました。

回答いただいたほとんどの項目において、「4（そう思う）」と「3（だいたいそう思う）」の割合が、昨年度の数値を上回りました。90%を超えた項目としては、「学校行事の工夫」や健康教育の4項目（「食育の推進」「基本的生活習慣」「体力向上」「感染症対策」）がありました。また、昨年度から7.2ポイント増と最も数値が上昇したのが、「自他を大切にできる心身の育成」でした。「一人一人のよさや違いを認め合い、自他を尊重する豊かな感性を育む」というテーマの下に進めてきた本校の人権教育の取組を評価していただいたものと思います。

一方で、「いじめや差別の早期発見・早期対応」の項目は、昨年度よりは数値が上がったものの、60%弱と全体の中でも低い数値となりました。今年度は、毎月いじめアンケートを実施し、学級担任による聴き取りや校内の対策委員会などでの対応を行ってきました。こうした取組の状況に関して、保護者への情報提供が十分ではなかった結果だと受け止め、今後さらに積極的な情報発信に努めていきたいと思っています。

自由記述では、コロナ禍の影響で授業参観や学級懇談会等、児童の様子を直に見ていただいたり、担任と話をしたりする機会がなくなったことに対するご意見をいただきました。今年度は、新型コロナの感染状況が落ち着いた7月上旬に授業参観、11月に学習発表会を開催しましたが、学級通信などを通して、学校での児童たちの様子をさらにしっかりとお伝えしていくことが重要だと改めて感じました。

（学校評価の結果は、裏面をご覧ください。）



熊本県学力・学習状況調査結果より

12月1日、2日に、3年以上の学年で実施した熊本県学力・学習状況調査の結果が出ました。個人票及び「i-check（アイ・チェック）」シートにつきましては、2月10日に配付を終えています。

昨年の同調査の結果と比較できる4、5、6年は、国・算ともに正答率が前年（それぞれ3、4、5年時）を上回り、特に算数では全国の数値を大きく上回るなどの伸びが見られました。今年度はICT機器を活用し、児童の学習意欲の向上や協働的な学びの充実に努め、全職員で授業改善に取り組んできました。特に、算数は全学年とも「目標値」を上回っており、算数の少人数指導の成果が表れているように思います。とはいえ、学級、個人別に見ていくと課題が見られます。それぞれに結果の分析を行い、「課題克服のための6つのステップ」に沿った取組を行っていきます。

学習状況調査（i-check）では、「家の人は大切な人か」「家の人はほめてくれるか」等の「家族の支え」カテゴリでは、全学級において良好な選択（4点中3点以上）をしているという結果が見られました。代陽小の児童にとって、家庭が安心できる場所であることがうかがえます。一方で、いくつか共通する課題が見られました。「土日や祝日等の家庭学習」に関して、「まったくしない」という回答の割合が、全学年で2割前後見られました。家庭学習の内容の精選や学習環境の整備など、学習内容の学校と家庭が連携して児童の学習意欲の向上を図っていく必要があると感じました。「i-check」の結果についても、学力調査結果同様学年で分析を行い、指導改善につなげていきたいと思っています。

「マイタイムライン」を作成しよう



7日（月）に、5年生が防災教育で「マイタイムライン」の作成を行いました。防災WESTの早田さん、坂本さんを講師として、大雨・洪水を想定した避難計画の立て方を学びました。「地域の災害リスクを知る」「災害から身を守る知識をもつ」ことが、いざというときに自分や家族の命を救うことにつながります。いつ、どこで起こるか分からない災害への意識を高めるきっかけとなりました。